

## 第108回 東日本地区研究例会のお知らせ（「英語教育・メディア研究分科会」共催）

第108回 東日本地区研究例会を、3月15日（日）午後2時より、東日本地区の分科会「英語教育・メディア研究分科会」との共催にて開催いたします。東日本地区はもちろん、中部地区、西日本地区からの参加も歓迎いたします。（会場入構申請とZoom情報連絡のため、事前申込制です。）

【日時】： 2026年3月15日 14:00~16:00 \*受付開始時間：13:30より

【開催形式】： ハイブリッド形式

<対面>： チエル株式会社 チエルーム<定員20名>  
東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー22F  
アクセス：[CHieru Japan](#)

<オンライン>： Zoom<定員30名>（前日までにZoom情報送付予定）

【申込】： こちらのURLまたはQRコードからお申込みください。  
どなたでも全国からご参加いただけます。

<https://forms.gle/pk5v965jzRro62MN9>



【締切】： 3/8（日）（対面）・3/13（金）（オンライン）

【会費】： 無料（会員・非会員共）

【連絡先】： 吉原 学（日本メディア英語学会東日本地区長・副会長）  
[manabicreation@gmail.com](mailto:manabicreation@gmail.com)

### 第1部 特別講演：14:05-15:05

発表者： 河原清志先生

拓殖大学・大学院教授

発表題目： 「敵をつくる言語、関係を残す言語——英語メディアによる紛争報道を〈相互ケア〉から読む」

要旨： 本講演は、国内外の紛争をめぐる英語メディア報道を対象に、そこで用いられる言語が対立構造を固定化し「敵」を生成するのか、それとも深刻な対立状況の中にあっても他者との関係を完全には断ち切らない〈相互ケア〉的言語実践として機能しうるのかを検討する。相互ケアを、合意や感情的共感ではなく、評価の確定を留保し応答可能性を残す言語的態度として捉え、語彙選択、主体の配置、評価語の用法などを分析することで、紛争報道における言語の倫理的役割を明らかにする。本研究は、言葉と霊性を〈相互ケア〉の視座から論じた博士論文（実践宗教学）の知見を応用したメディア英語研究であり、東洋哲学に依拠した存在論・関係論を理論的基盤とする。あわせて、JAMES理事在任期の経験にも触れつつ、本研究の学術的背景を共有したい。

## 発表者プロフィール：

河原 清志（かわはら きよし）：



拓殖大学外国語学部教授・言語教育研究科英語教育学専攻主任。上智大学法学部卒業。立教大学異文化コミュニケーション研究科博士課程修了（博士）。高野山大学文学部卒業（認定心理士）。現在、上智大学大学院実践宗教学研究科博士後期課程在籍中。臨床スピリチュアルケア師・臨床宗教師。

金城学院大学および関西大学を経て現職。日本メディア英語学会、日本通訳翻訳学会にて役職を務める。専門は通訳翻訳研究、メディア英語研究、スピリチュアルケア論、宗教学、言語哲学。著書に『翻訳等価再考—翻訳の言語・社会・思想』（単著、晃洋書房）、『メディア英語研究への招待』（編著、金星堂）ほか。

**休憩・交流会：15:05-15:15**

## 第2部 会員発表：15:15-15:45

**発表者：** 東海林康彦

フリースランス翻訳者

**発表題目：** 「近年の英語スラングの観察—分野や音声面の一考察」

**要旨：** 本発表では、近年英語圏で注目を集めているスラング表現を取り上げ、それらが生まれた社会的・文化的背景やそれらの分野、および音声的特徴に着目して考察を行う。まず、スラングの定義や特徴を確認し、スラングが単なる言葉遊びにとどまらず、社会の価値観や時代精神を映し出す鏡であることを示す。次に、スラングが生まれる背景として、インターネット文化やSNSの影響、ジェンダーやアイデンティティに関する社会的議論、若者文化や音楽・ファッションの潮流など、複数の分野にまたがる具体例を挙げながら、それぞれの語の意味と使用文脈を分析する。さらに、スラングに見られる音声的特徴にも注目し、語の短縮、リズムや韻を意識した構造、強勢の変化など、音の面白さや印象の強さが語の拡散に与える影響を考察する。さらに、SNS等を通じたスラングの拡散や認知度、寿命のプロセスにも注目し、スラングがどのように社会に浸透し、また消費されていくかを検討する。最後に、スラングを通して見えてくる現代社会の価値観、言語変化の動態などについて考察し、スラング研究が今後の英語教育において果たす可能性と課題について展望を示す。

## 発表者プロフィール :



東海林 康彦 (しょうじ やすひこ) :

フリーランス翻訳者。

ロンドン大学大学院言語学部音声学科卒業 (修士)。千葉県私立大学と東京都内のオンライン大学にて英語教育に携わった後、フリーへ。著書に、共訳『グラフィエーター リドリー・スコットの世界』、共著『映画英語授業デザイン集』などがある。

## MAP :

